

琉球大学学術リポジトリ

[記事](研究発表会要旨)中国林業と自然災害およびその保全

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 周, 亜明 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017231

⑥ 中国林業と自然災害およびその保全

中南林学院・林業機械学部 周 亜明

一. 中国林業の概況

中国は人口が世界一の農業国であるが、森林率は12% (約1.1億万 ha) と少なく、世界では120位 (1名当り) である。森林資源は不足しており、毎年木材が大量に輸入されている。中国は自然条件が厳しく、自然災害が多い国であり、特に黄河流域での造林はかなり困難である。

中国の林業はほとんどが国有林と集体林の制度である。

二. 中国の森林と関係が深い二大自然災害——森林火災と土砂流亡

1. 森林火災の現状：毎年平均1万回以上発生し、百万 ha の森林が焼き払われている。
2. 黄河流域と長江流域での水害 (土砂流失)
3. 1981年長江上流のいわゆる「8・17大洪水」

三. 緑化は中国森林の当面の急務

1. 中国林業部の調査報告によると、この5～6年来、森林率は12.7%から12%に減少し、これからも5年毎に0.9%のスピードで減少する勢いがあるようである。
2. 新しい「万里の長城」と言われている北方リング防護林帯の設置が進められている。
3. 日中両国の専門家が合同で黄河流域の緑化を開始している。